

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立北摂つばさ高等学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	1 授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の自己肯定感の獲得と学校生活満足度の向上 2 中途退学率の減少
計画名	心を鍛えるつばさチャレンジ

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	2. 豊かな人間性と社会で生き抜く力の育成 (1) 社会に通用するコミュニケーション力のある人材を育成する。 ア. 教育相談体制の再構築とカウンセリングの手法を用いた対話主体の生徒支援をおこなう。 イ. 開発的カウンセリングの視点をもって生徒の自己肯定感の育成をすすめる。 ウ. ユニバーサルデザインの授業等でのプレゼンテーション活動を通して生徒の自己発信力をたかめる。 ※ 学校教育自己診断のアンケート（教員）「教育相談体制が整備」の肯定率を R4 年度までに 70%以上をめざす。（H29 年度 65% H30 年度 68% R1 年度 59%）
事業目標	【心を鍛える】 ・ 学校教育自己診断、スタディーサポート等により生徒の自己肯定感の低さに起因する自己決定力の弱さという課題が見えた。希望の進路実現へつなぐためには自己肯定感の強化に主眼を置いた教育方針の打ち出しが急務である。 ・ 学校体制の方向性：従来の対処療法的な教育相談体制を脱して、すべての生徒が対象の開発的カウンセリング体制を構築することにより、少しのことで折れない強い心を持った、社会でたくましく生き抜くことができる生徒を育成する。 ・ 生徒・教員の変容：多様な価値観を基にしたさまざまな体験活動をとおして自己有用感を実感する。 ・ わかりやすく魅力的な授業を提供することで、生徒の学びへの自己発信力を強化する。 ・ 人とのつながりを大切にしてコミュニケーション力を獲得する。
整備した 設備・物品	箱庭（1セット）、箱庭置台、箱庭棚、Wi-fi 環境の整備（ルーター、ケーブル）、iPad 20 台、iPad の鍵付き保管庫 2 台、iPad の保護シート
取組みの 主担・実施者	主 担：首席、つばさチャレンジプロジェクト 実施者：全教員を予定
本年度の 取組内容	・ 箱庭セットの整備。Wi-fi 環境の整備、iPad 等 ICT 環境の整備。 ・ 教職員と生徒を対象に箱庭研修を実施。 ・ 外部講師（公認心理師）を招聘してストレスマネジメント（マインドフルネス）の教員研修の実施。 ・ 校長かわら版によるリフレーミング、アサーション、ブリーフセラピー等のカウンセリング技法を教職員へ紹介。

<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>1 ① 学校教育自己診断「学校へ行くのが楽しい」「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」「様々な活動を通して自信がもてるようになった」の項目を60%以上。</p> <p>② 本校のいじめ防止自己診断アンケート第1象限（他者理解）75%以上、第4象限（他者への無関心）10%以下。</p> <p>2 成績不振による中退者を前年度比25%減少。</p>
<p>自己評価</p>	<p>1 ① 学校教育自己診断の以下の項目について目標を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校へ行くのが楽しい」生徒・保護者とも78%（前年比+1p）……………（◎） ・「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある」62%（前年比+6p）…（○） ・「様々な活動を通して自信がもてるようになった」57%（新規）……………（△） <p>また、次の項目においても昨年度と比較して値が上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育相談体制が整備されている。」教職員78%（昨年度より+20p） ・「困っていることに真剣に先生は対応してくれる。」生徒76%（昨年度より+5p） ・「先生はプライバシーや知られたくない秘密を守ってくれる。」81%（昨年度より+12p） <p>② 本校独自のいじめ防止診断アンケートにおいて第1象限（他者理解）71%……（△） 第4象限（他者への無関心）17%……………（△）</p> <p>2 成績不振による中退者を33%減とすることができた。……………（○）</p> <p>各種の生徒・教職員対象の研修については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったものがあった。</p> <p>開発的カウンセリングの周知として教育相談委員会と支援教育委員会を合併し包括的に支援できる教育相談支援委員会に組織改編した。教職員間において教育相談体制の整備の必要性を確認することができた。</p> <p>当初は「死ね」「うるさい」等のきつい言葉を使う生徒が多かったが、継続的な肯定的言葉かけと指導により、きつい言葉を使う生徒が激減した。生徒の間で見られたグループ間の対立も、お互いに違いを尊重しながら交流できるように変化してきた。できなかったことよりもできたことを教員のところへ話しに来る生徒が増え、自己肯定感の向上が徐々にみられる。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために活動を制限せざるを得なかった。次年度は感染拡大状況を見ながら以下の取組みを進める。</p> <p>1 生徒の活動の活性化。</p> <p>(1) 教育相談の分野： 生徒を対象に箱庭体験の機会提供を継続し、教育相談委員のリーダー教員が講師となって自己肯定感を高めるようなカウンセリング技法を教員に紹介する。</p> <p>(2) 分かる授業分野： 授業においてタブレットを活用してペアワークやグループワークに取り組み、プレゼンテーションの機会を通じて生徒の自己発信力を高める。</p> <p>2 教育相談体制の強化</p> <p>(1) 教育相談の分野： 教職員を対象に生徒の自己肯定感を高める傾聴の手法を徹底する研修の実施。</p> <p>(2) 分かる授業分野： 企画部の主導によりユニバーサルデザインに基づいた授業改善を進める。モデル授業の見学や研究協議について、地域の他校種とも連携して取り組む。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	1,323,794	円
----------	------------------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額	
1 報償費	1	臨床心理士による研修	¥30,000	1		¥30,000
	2					
	3					
	小計					
2 旅費	1					
	2					
	3					
	小計					
3 消耗需用費	1	タブレット端末	¥48,785	20		¥975,700
	2	タブレット端末保護ケース	¥1,180	20		¥23,600
	3	画面保護フィルム	¥998	20		¥19,960
	4	箱庭置台	¥51,150	1		¥51,150
	5	HDMIケーブル	¥468	3		¥1,404
	小計					
4 維持需用費	1					
	2					
	3					
	小計					
5 役務費	1					
	2					
	3					
	小計					
6 委託料	1					
	2					
	3					
	小計					
7 使用料 及び賃借料	1					
	2					
	3					
	小計					
8 備品購入費	1	メルコム 箱庭ベーシックセット	¥221,980	1		¥221,980
	2					
	3					
	小計					
9 工事請負費	1					
	2					
	3					
	小計					
10 負担金・補助 及び交付金	1					
	2					
	3					
	小計					
合計						¥1,323,794